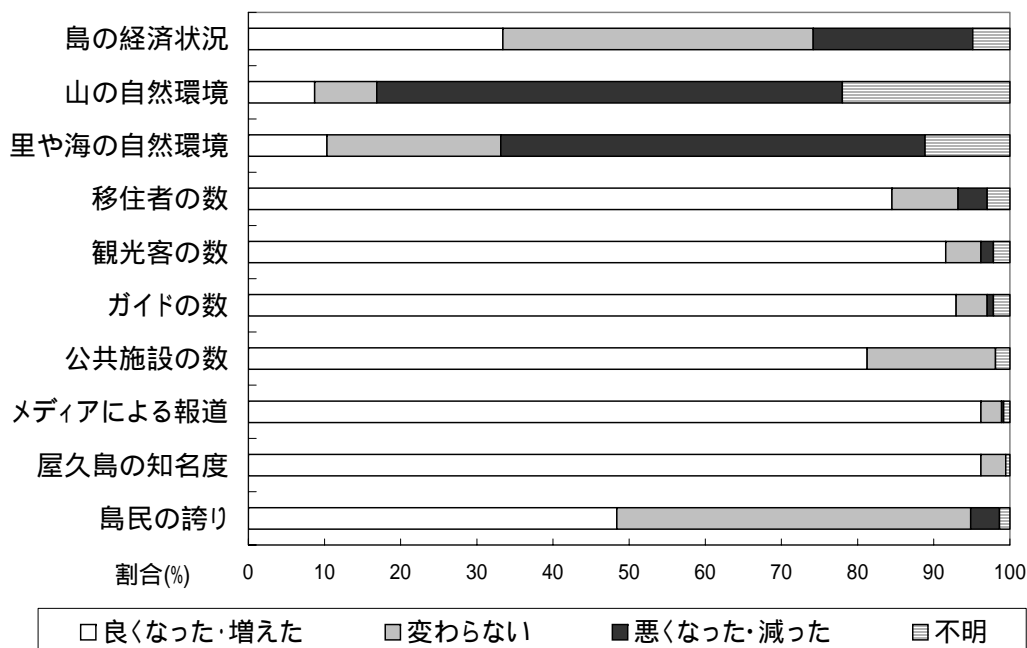


1. アンケートを実施しました！

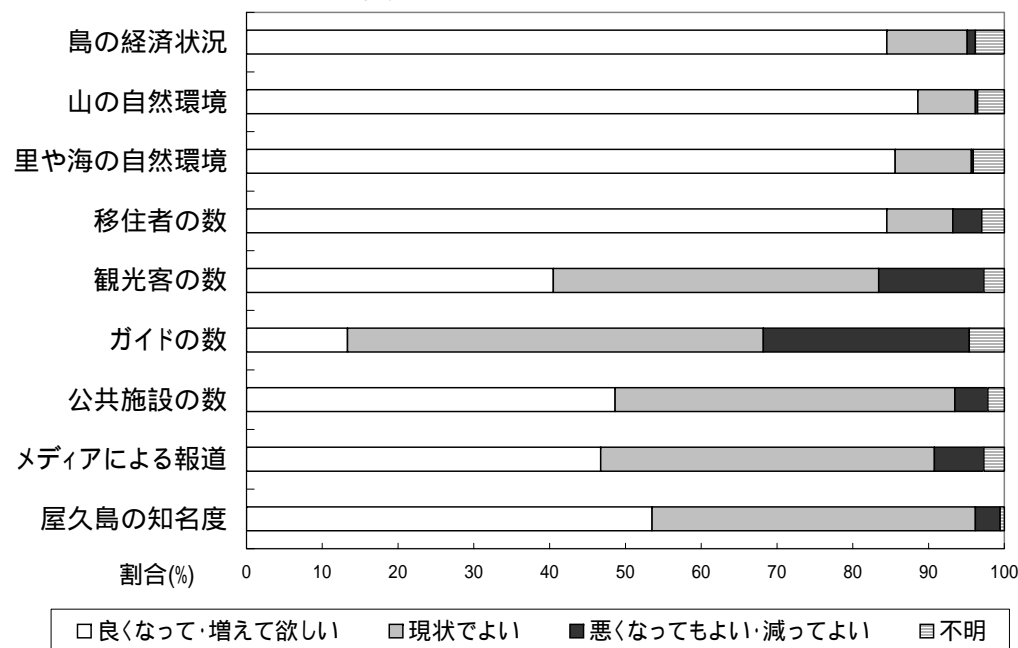
世界遺産登録が島の暮らしや社会にどういった影響を及ぼしたかを明らかにするために、調査を行いました。  
 屋久島高校の生徒さんをはじめ、30名を超える島民の方々が調査員として参加してくださり、368名(上屋久町183名、  
 屋久町185名)から回答を集めることができました。

2. 結果

(1)世界遺産に登録される前と後での比較



(2)望ましい将来・未来のすがた



- ・多くの方々が、観光客・ガイド・知名度などが増えたと実感
- ・一方、島の自然環境が悪化していることも実感
- ・島の経済状況は、登録前後で変化なしが最も多い回答に

- ・8割以上の方々が、自然環境が良くなって欲しいと希望
- ・観光客・ガイドの数は、現状維持という声が大勢
- ・ガイドの数は、減少を望む声が増加を望む声を上回る

3. 座談会に向けて

9割以上の方々が屋久島の自然を守るために、島民が今よりも積極的に関わるべきと回答されました。  
 また6割弱の方々は、自然を守る仕組み(システム)や公的組織の取り組みに少なからず不満を持っておられました。

これからの島づくりのために、座談会でぜひあなたのご意見をお聞かせください